

オイルパステル

顔料と蠟と油

顔料を固めただけのパステルの欠点は、定着性がないことです。そこで、考案されたのが顔料を蠟と油で練って固めたオイルパステルです。しっとりとした発色と色のびの良さ、厚塗りした上からナイフで削ったり、テレピン油をしみ込ませた筆でなぞって色を溶かすなど、独特の味わいと幅広い表現方法から、オイルパステルを使って作品をつくるアーティストが増えています。

しかし、油を使っているため、油がしみこんで紙を変質させるのではないかと心配される方もいるようです。油絵具と同じ乾性油だと紙を劣化させますが、オイルパステルに使われている油はその作用に乏しいので変質することはありません。

ちなみに、オイルパステルを発明したのは日本人。絵画材料の世界では、「エジソン級の発明“だ”という人もいます。

作品の保護と重ね塗り

オイルパステル作品をそのままにしておくと、いつまでたっても油が乾きません。指で作品の表面をこすると、指に顔料がつきます。そんな場合は、クレヨンコート(ス

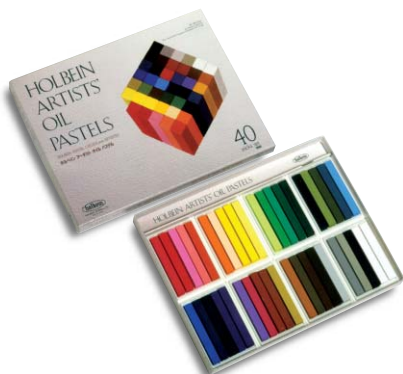
プレー式)を使います。画面から30cmほどの距離で、ゆつくり左右に動かしながら、上から下へ順に吹きかけていきます。20分ほどおいて乾かし、作品を90度回転させて同じように吹きかけます。乾いたら完了です。表面を膜が保護するので、触ってもベタベタしません。

また、オイルパステルを重ね塗りすると、下層の色と混ぜたり、厚塗りした部分が削げてマチエールの効果が半減します。一度塗ったオイルパステルの上にクレヨンコートを吹きかけ、乾いた上から再びオイルパステルを塗るときは重ね塗りができます。

「同じパステルだから、パステルフイキサチフでも良いのでは」という質問もよくありますが、これはお薦めできません。パステルフイキサチフは固着剤が入っていないパステルを定着させるためのもので、クレヨンコートとは材料構成がかなり異なり、オイルパステル作品の保護ワニスとしての機能を有していないばかりか、オイルパステル作品のもつ質感には適していません。



クレヨンコート
(220mlエアゾール)



アーティスト オイル パステル
40本セット(ホワイト2本入)

ホルベイン絵具に関する
ご質問・ご相談は…

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.0729 (85) 1223
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



ホルベイン絵具